

市民説明会「新しい図書館を語る会」 質疑応答

カテゴリー	質問	回答
図書館機能	規模が 2 倍ということだが分館を集約するのか。 公民館の図書室はどうなるのか。	公民館内の図書室は“分館”ではなく、市内に分館はない。 公民館にある本はそのまま残る。
図書館機能	現在の蔵書はそのまま移動するのか、見直すのか。	蔵書 17.9 万冊、うち開架 10 万冊であり、開架率が低い。専門家の助言も得ながら配置やテーマ設定を工夫し、より魅力的な図書館にしていきたい。
図書館機能	県立図書館等との連携は。	県立図書館等との相互貸借の仕組みがあるので活用していただきたい。
図書館機能	美々津からは本館が遠い。 行きたいと思えるような魅力のある施設になってほしい。 読みたい本をリクエストしたら、すぐ届けてほしい。	考えられる可能性と施設の規模のバランスを見ながら検討していく。 県立図書館等との相互貸借だけではなく、インターネットでの本の予約も可能なので活用していただきたい。
図書館機能	蔵書が増えているが、図書館の面積は限られている。 デジタル化の時代だが、電子書籍等についてどのような構想があるのか。	昨年度からデジタル図書館を実施している。 図書館で扱える電子書籍はごく一部で、購入費用は紙の 3～4 倍。今後 10 年は紙中心の状況に変わりはないだろうと考えている。幅広いジャンルの本を取り入れ、興味を持ってもらえるよう工夫していきたい。
図書館機能	カフェや話せるスペースを作るのであれば、静かなスペースはどのように確保するのか。	音のゾーニングにより、静かなスペースも確保する。 フロアごとに機能を分けたり、同じフロアの中でも奥に行くにつれて静かになるようゾーニングしている事例がある。
複合施設全体	健康管理センター内「ひなたの森」は新しい複合施設に集約されるのか。こども課との連携は。	「ひなたの森」の機能は移転する予定で、子育て支援に関連する部署の執務室も複合施設内に移す方向性で考えている。基本計画・基本構想の策定体制にはこども課も入っており、連携しながら検討を進めている。
複合施設全体	障がいの有無に関わらず一緒に遊べる場所、静かに遊べる場所など、配慮がある場所は検討されているか。	施設整備を進めるにあたり、そのような視点は重要であると考えている。 子育て支援や障がい者支援、また公民館機能に関する視点も含めて、関連する部署と意見を共有しながら検討を進める。
複合施設全体	目的が限定された部屋は作らないとのことだが、どのような使い方を想定しているか。	特定の目的に限定した部屋の設置は難しいが、市民の皆さんがオープンに集まって話し合いや打ち合わせができるスペースは用意できると考えている。

カテゴリー	質問	回答
複合施設全体	新しい図書館は様々な機能が集約されるとのことだが、「詰め込みすぎではないか」「他の機能も必要ではないか」との意見もある。一部の機能を集約しない場合に、別の施設で引き続き行うなどの方法はあるのか。	ご意見は承知しており、詰め込みすぎではないかという指摘も受けている。今年度策定する基本計画の中で、基本構想に示している機能が本当にすべて必要なかを改めて検討していく。機能を限定する、または計画を縮小すると判断した場合には、その機能について、現在の施設で建て替えるのか、別の場所を実施するのか、といった対応は必要になるものの、現時点で具体的に決まっていることはない。さらに、人口減少など将来を踏まえ、常に今ある機能がそのまま必要かを考えていく視点が重要だと考えている。
複合施設全体	空間デザインを大切に、専門家の意見を取り入れながら作ってほしい。機能がつぎはぎになると、結果的に誰も使わない施設になるかもしれない。	基本設計段階から専門家の意見を取り入れて、検討していきたい。
複合施設全体	多目的ホール等の話もあったが、中途半端なものは作ってほしくない。無駄なものは削って、ちゃんと使われる施設にしてほしい。	多目的ホールの規模等は今年度策定する基本計画で検討する部分であるため、アンケート等を通してご意見をいただきたい。
複合施設全体	高校の探求学習で図書館に関することを研究しており、中高生が来たくなるイベントを考えている。どのようなイベントを考えているのか。	建設予定地で実証実験(イベント)を実施していく予定。
複合施設全体	中央公民館が取り壊され、複合施設に集約されるとのことだが、現在利用している文化団体の受け皿はあるのか。	現在の施設の改善点や新しい施設に期待することを伺うため、昨年度、関連団体との意見交換を実施した。今年度も文化連盟の加盟団体との意見交換を予定しており、それらの意見をもとに検討していく。
財政面	複合施設は何階建てなのか。決まっていらないのであれば、どのように費用を算出しているのか。	階数等は決まっていらないため、現在の想定面積と平米単価をもとに費用を算出している。
財政面	事業費 88 億円が、今後さらに増える可能性もあるのではないか。	事業費が増える可能性については、非常に懸念している。現時点の推計として、建設費 1 割増を見込んで算出しているが、実際に 1 割で済むかどうかは不明であるため、今後も状況を見ながら検討を続けていく。

カテゴリー	質問	回答
財政面	88 億円のうち、土地購入額はいくらか。 また、現在、建設予定地では解体工事が進んでいるが、その工事市がやっているのか。	88 億円のうち 6 億 5,000 万円を土地購入として見込んでいる。 解体工事は市ではなく、現在の所有者において発注・実施されている。
財政面	施設整備の必要性は理解するが、庁舎、体育館に加えて図書館も整備することになると財政面が心配。 既存施設の維持管理への影響は。	将来の利用者との負担の公平を図る観点から、地方債の活用を予定している。 今回の整備によって、その他の市民サービスに影響が出ないよう、十分に検討しながら進めていく。
財政面	図書館建設で税負担は増えるのか。	図書館の建設によって、市民税や固定資産税などの税率が引き上がることはない。
事業の進め方	教育委員会の職員が参加していないが、生涯学習・学校教育としての位置づけは。	基本計画・基本構想の策定体制には、教育委員会職員も含まれており、現在連携しながら検討している。
事業の進め方	図書館建設について、日向市民はどれだけ知っているのか。 もっと周知するべきではないか。	これまで市ホームページや記者会見などで周知してきたが、「市民の目に触れる形になっているか」「情報が伝わっていないのでは」という点は課題として認識している。情報がより確実に届く方法を検討していく。
事業の進め方	市民全員に知らせるためにも、一世帯一世帯、はがきを配って欲しい。子育て世代の母親などは情報を知らない人が多く、回覧板や SNS だけでは届かないので、選挙のはがきのように全世帯へ届ける方法を検討して、税金の使い方に対しても納得感が得られるようにしてほしい。	基本計画策定に向けて、市民の方からの意見をどのように把握していくかが非常に重要だと考えている。ご要望の「全世帯にはがきを送る」ことについては、ここで約束できるものではないが、現在拾いきれていない意見を把握していくか、どのように情報発信をしていくか検討していく。
事業の進め方	日向ラボ・ラボを 7 回開催したとのことだが、高齢者や図書館利用者の意見が反映されていないのではないかと。幅広い人の声をどう拾うのか。	ターゲットを「若者に限定する」ものではない。昨年度の日向ラボ・ラボでは、子どもや若者に関するテーマが中心であったが、今年度継続して取り組む中で、幅広い世代から意見を聞くことを考えている。
跡地活用	現図書館と中央公民館の解体後、跡地活用の方向性は。	跡地活用に関する方向性は決まっていない。